

雌阿寒岳

○ SO₂(二酸化硫黄)放出量 (暫定値)

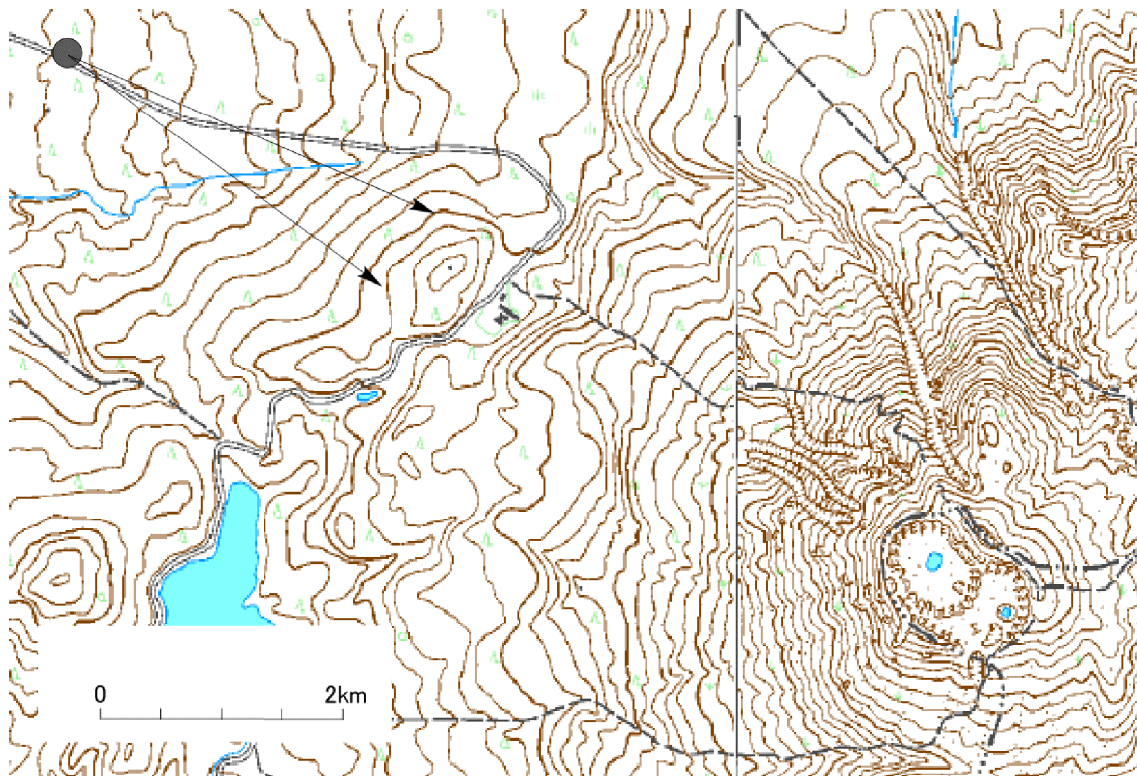
3月21日の小噴火から5日後の3月26日にCOSPECにより二酸化硫黄放出量の遠隔測定を行った。測定場所は雌阿寒岳ポンマチネシリ火口から北北西に4kmほど離れた地点である(図1)。

噴煙は、強風のために、火口から立ち上るとすぐに倒れ、斜面にそって流れていた。噴煙の量は、小噴火の翌日に目視で約100MWと見積もられていたが、隔測時にはその半分以上のように見えた。

二酸化硫黄の放出量は 5.1 ± 0.6 ton/日である。噴煙の幅および上昇速度の見積もりの誤差が大きい。それら値に200%の誤差を見込んだ時、二酸化硫黄放出量は最小で1.3ton/日、最大でも20ton/日を超えることはない。

表1 測定結果

測定年月日	SO ₂ 放出量
2006年3月26日11時5分・21分	5.1±0.6ton/日(暫定値)



観測地点

(大島・鈴木)

雌阿寒岳